

北畠女教訓

完

208
616



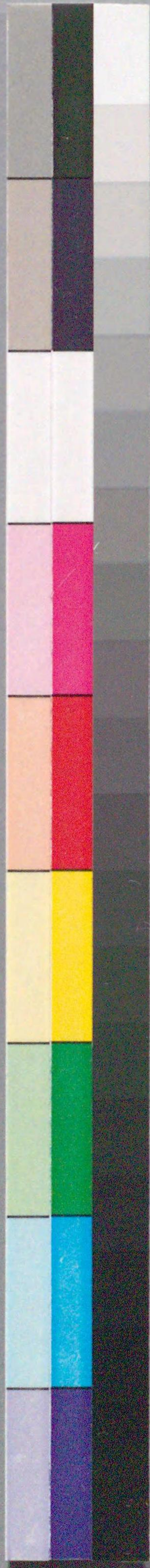
ガラス使用

北島女教訓

五冊



— 0 #



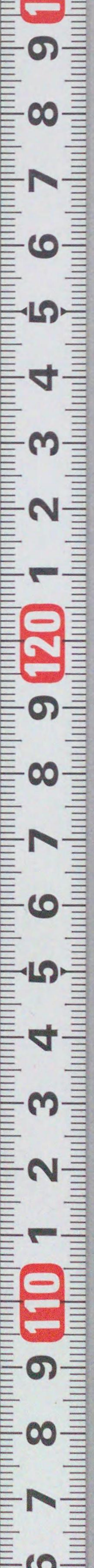
上序

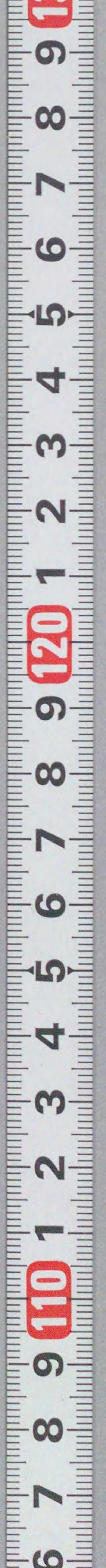
執刀列一志郡は白米の城跡と云ふ事
 北畠満政の代々小君住みありし事
 武將義政公北畠の威勢を以て急は政伐
 の巡りひくちふむを討てり
 本軍とさし向らる満政方より權代身願のり
 細身してこれを防ぐ足利勢つる小君
 討てり
 つらるる事ありしを記して見女の天竺を
 貞六庵ありしを記して見女の天竺を
 ちくのりし干時文化戊辰春正月

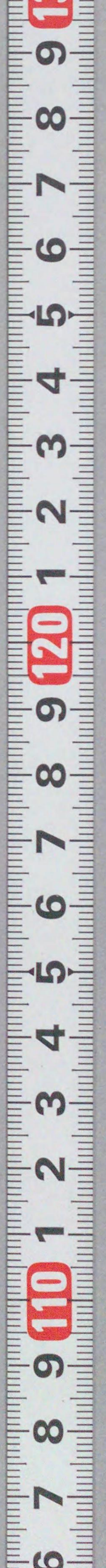
萬戸邑の
 偶居あわて 十返舎一九志真













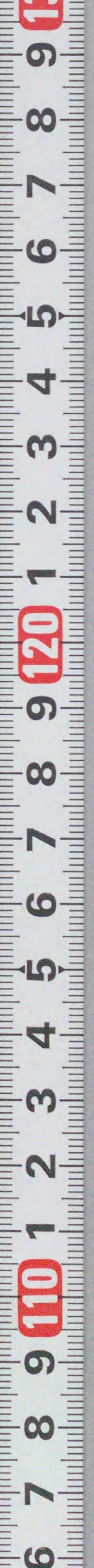
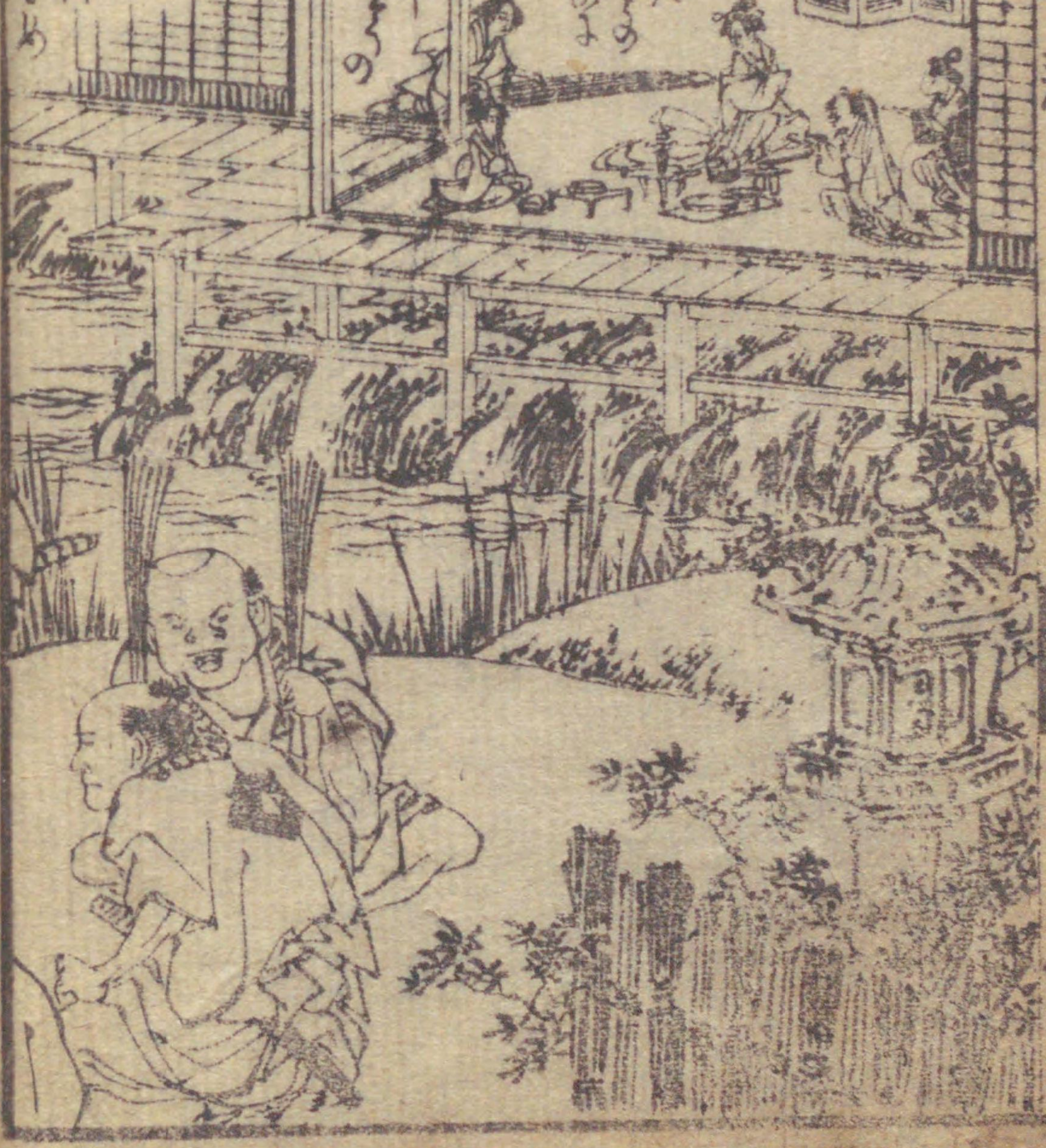
6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

まゐるにまゐるに
あつてんせんまづ
うさこつてを助を
させんふてを助を
させぬことてこれ
いふまゝくこくさ
はせんのことか
そのうらふ
このあかん
そらうめん
ちやうてつ
も少だせい
つるれれれ
ふのまらぬ
りしてはこ
すんめん
のうらふ
さるもあや
いふこと
うらふこと
つげん



おのれま
あま

まゐるにまゐるに
あつてんせんまづ
うさこつてを助を
させんふてを助を
させぬことてこれ
いふまゝくこくさ
はせんのことか
そのうらふ
このあかん
そらうめん
ちやうてつ
も少だせい
つるれれれ
ふのまらぬ
りしてはこ
すんめん
のうらふ
さるもあや
いふこと
うらふこと
つげん





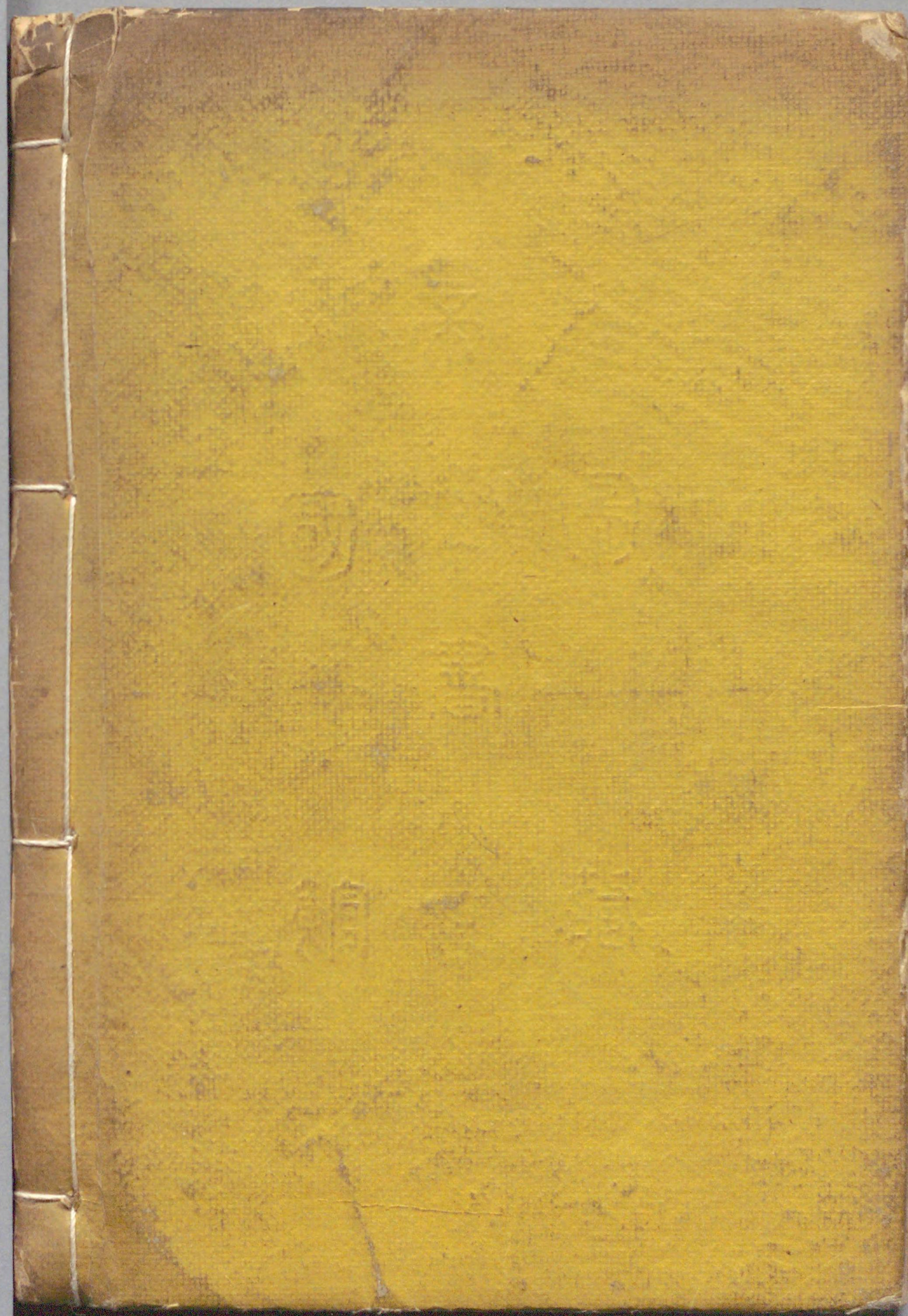
208
616



208
616



清
音



国立国会図書館 北畠女教訓 5巻 208-616

ガラス使用